

## 建設経済常任委員会会議録

- 1 日 時 平成28年2月26日(金)  
午前9時57分～午後2時54分
- 2 場 所 第2委員会室
- 3 出席委員 委員長 及川 秀一 副委員長 大友 康信  
委員 齋 浩美 委員 荒川 洋平  
委員 小野 泰弘 委員 相澤 祐司  
委員 菊地 忍
- 4 欠席委員 な し
- 5 説明のため 建設部長 小久保義博  
出席した者 建設部次長兼 伊東 正人  
土木課長  
建設部企画員兼 馬場 浩一  
土木課長補佐  
土木課技術主幹兼 村上 諭  
道路建設係長
- 6 事務局職員 主 事 石川 法子
- 7 付議事件
  - (1) 所管事務及び議案関連事業箇所等の現地調査について
  - (2) 陳情第1号 市道本郷堀内線、焼野線及び本郷原線に関する陳情

開 会 午前9時57分

○委員長（及川秀一） 出席委員は、定足数に達しておりますので、委員会条例第14条の規定により委員会は成立いたしました。

ただいまから、建設経済常任委員会を開催いたします。

これより、本日の会議を開きます。

本日の会議は、お手元に配付の委員会次第書のとおりであります。

この際、諸般の報告をいたします。

委員会条例第19条の規定により、建設部長及び担当課長等の出席を求めておりますので、報告をいたします。

次に、本日の会議に必要な資料をお手元に配付しておきましたので、御了承願います。

以上で、諸般の報告を終わります。

初めに、付議事件の（1）所管事務及び議案関連事業箇所等の現地調査についてを議題といたします。

本日の行程等につきましては、さきの委員会において決定しているとおりであります。

なお、帰庁後の執行部からの聞き取り調査に当たっては、現地調査中に個別に確認した事項等についても、改めて御発言いただきますようお願いいたします。

それでは、これより現地調査日程に基づき現地調査を行います。

現地調査終了まで、休憩いたします。

休 憩 午前 9時58分

再 開 午後 2時40分

---

○委員長（及川秀一） 再開いたします。

これより、付議事件の（2）陳情第1号 市道本郷堀内線、焼野線及び本郷原線に関する陳情を議題といたします。

これより、執行部からの聞き取り陳情調査を行います。

この際、陳情調査の進め方について申し上げます。

初めに、執行部より陳情内容に係る現状及び執行部の考え方について説明いただき、委員各位より質疑をお受けいたします。

質疑を終結し、執行部退室の後、委員各位から御意見を伺う形で進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、執行部からの聞き取り調査を行います。

休憩をして進めてまいります。暫時、休憩いたします。

休 憩 午後 2 時 4 1 分

---

\*休憩中の発言の要旨

(土木課)

・市道本郷堀内線について、国道 4 号との接続箇所から 55 メートルほど改良が必要であり、側溝等を整備して歩道設置を検討したいが、そのためには国との協議や用地買収も必要であり、早急な対応が難しいこと。

・市道焼野線について、一部改良は完了しているが、経年劣化や交通量増加による傷みが激しいため、側溝の改修を行い幅員を確保したい。

・市道本郷原線について、名取土地改良区と調整し、水路を整備して幅員を確保したい。

・地区全体としては、現在進めている幹線道路等の継続事業を優先にしながら、道路計画を策定していきたい。

問 各路線の整備時期は。

答 市道本郷堀内線を優先して整備したい。平成 30 年を目安に計画を立て、整備していきたい。

問 市道焼野線の一部改良とは。

答 市道焼野線については、全線一部拡幅改良完了しており、幅員は 5 メートルある。

問 市道焼野線及び本郷原線はどのように整備するのか。

答 側溝の大きさについては、名取土地改良区と調整が必要であり、車道幅員を確保できるよう設置したい。

---

再 開 午後 2 時 4 8 分

○委員長（及川秀一） 再開いたします。

以上で、執行部からの聞き取り調査を終了いたします。執行部におかれましては、休憩中に出されました意見等を踏まえられ、今後の事務事業の執行に当たられますようお願いをいたします。

執行部の皆さんには、大変御苦労さまでした。

暫時、休憩いたします。

休 憩 午後 2 時 4 8 分

---

再 開 午後 2 時 4 9 分

○委員長（及川秀一） 再開いたします。

これより、陳情第 1 号について委員各位より御意見をお伺いいたします。

休憩をして進めてまいります。暫時、休憩いたします。

休 憩 午後 2 時 4 9 分

---

\*休憩中に委員から出された意見

- ・市道本郷堀内線は国道と接続するため、国と調整をしっかりと行い、早急な対応が必要である。
- ・側溝を整備するためには、名取土地改良区と調整が必要なため、進めかたについて滞ることのないよう、市からも事情を説明し働きかけるべき。
- ・多くの住民が困っており、車の出入りも多く、危険性も高いため対策が必要である。

\*委員会として取りまとめた意見

- ・整備に当たっては、360名の署名が添付されたことを踏まえ市道本郷堀内線については国と、市道焼野線及び本郷原線については名取土地改良区と調整の上、整備計画を立て、早急に対応するべき。
- 

再 開 午後 2 時 5 3 分

○委員長（及川秀一） 再開いたします。

お諮りいたします。陳情第 1 号に係る委員会調査報告書案の作成につきましては、休憩中の協議を踏まえ、委員長に御一任願いたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（及川秀一） 御異議なしと認めます。よって、そのように決定いたしました。

なお、委員会調査報告書案については、次回の委員会においてお示ししたいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上で本日の付議事件は全て終了いたしました。

本日の委員会はこれにて散会いたします。

なお、次回委員会は3月3日木曜日午後1時、議員協議会室において開催いたしますので、御参集方よろしくお願いいたします。

大変御苦労さまでした。

散 会 午後2時54分

平成28年2月26日

建設経済常任委員会

委員長 及川 秀一